

送假名大概

811.56
N4520



319466

送 假 名 大 概

送假名大概

本書著作ノ趣意

中 根 淑

日本中古以來、假名交リ文漸ク行ハレ始メケルニ、其ノ文ノ便利ナルヲ以テ、後世ニ及ビテハ、公私ノ文書ヲ初メトシテ、諸々ノ著書ニモ皆之ヲ用ヒ、今日ニテハ之ヲ國文ト稱シテ、我が國隨一ノ文章トスルニ至レリ、然レドモ此ノ文章ヲ屬スルニ當リテ、漢字ノ未ニ假名ヲ送ルコトヲ論シタル者ハ、昔ヨリ未ダ見ザル所ナリ、余明治五年陸軍兵學寮ニテ兵要日本地理小誌ヲ撰述セシトキ、始メテ送り假名ヲ一定セント思ヒシカド、當時大イニ上木ヲ急ギシカバ、唯大方ニ取捨シテ止ミヌ、同ジキ八九年ノ頃、日本文典ヲ作ルニ及ビ、其ノ附録トシテ、附ケ假名送り假名ノ二篇ヲ掲ゲ、略之ヲ論ジタリシガ、其ノ頃ハ是等ノ事ニ意ヲ注グル者モナク、余モ亦一々ハ其ノ説ヲ守ラザリキ、是一ツニハ、余ガ説ノ法則ニ拘泥シテ實用ニ不便ナル者儘アルヲ以テナリ、同ジキ十五年、西村茂樹君文部省編輯局長タリシトキ、小學教科書ノ送り假

名ヲ一定セント思ヒ立タレテ、余モ時々其ノ議ニ關リ、頓テ其ノ書成リタリ、此ノ時專ラ之ヲ擔任シタルハ内田嘉一君ナリ、爾來右編輯局出版教科書ノ送り假名ニ甚ダシキ不同ナカリシハ、實ニ君ノ力ナリ、其ノ後二十二年ニ至リ、官報局ニテ送り假名ヲ定メタリト聞キシカド、當時之ヲ見ルベキ必要モアラザリシカバ、今日マデ如何ナル法ナリヤエ知ラザリシ、頃者金港堂書籍會社ニ於イテ、同會社出版ノ書籍ハ一定ノ送り假名ヲ用ヒントノ議起リテ、余其ノ撰定ノ依頼ヲ受ケタリ、因ツテ參考ノ爲メ始メテ官報局ノ送假名法ヲ閱シタルニ、是ハ旨ト余ガ二十年前ニ作りタル日本文典中ニ用ヒタル品詞ノ名稱言語ノ配置ト文部省ノ送り假名寫法トヲ彼此打チ混ジ、而シテ更ニ送り假名ニ必要ナキ者ヲ書キ添ヘタルニ過ギザレバ、竟ニ參考トスルニハ足ラザリキ、サレバ今此ニ作り出デタル書ハ、余ガ當初日本文典ニ掲ゲタル者ト、文部省ノ送假名寫法トヲ根本トシ、其ノ便ナルハ存シ、其不便ナルハ改メ、以テ簡ニシテ避ヒ易キヲ主眼トシタル者ト知ルベシ、世或ハ余ヲ以テ送り假名規則ノ首唱者ト思フ者アレド、是決シテ然ラズ、之ヲ書ニ筆シタルハ余ガ日本文典コソ初メナレ、サレド之ヲ可否討論シタルハ、當時陸軍參謀局ニ同ジク職ヲ奉ジタ

リシ陸軍少佐木村信卿ト文部省編輯局員那珂通高トノ二君ナリ、故ニ余ガ論ジタル項中ニハ、此ノ二君ノ意見ニ係ル者モ少カラズ、縱ヒ過チハ己獨リ之ヲ受ケテ辭セザルモ、功ハ決シテ一人之ヲ占ムベキニアラズ、因ツテ之ヲ録シテ以テ世ノ人ニ告グ、

送り假名ノ規則ヲ設クルニハ、先ヅ送り假名ハ何ノ爲メニ著クルヤヲ詳カニスルコト肝要ナリ、往昔漢文ニ捨テ假名ヲ附ケタルガ即チ假名交リ文ノ漢字ニ假名ヲ送ル本ニシテ、唯人ヲシテ讀ミ易カラシムノ一言以テ之ヲ蔽フベシ、サレバ古代ノ文ニ送り假名ノ寡キハ如何ニト云フ者アラン、蓋シ古人ハ讀書ノ難易ニ甚ダ心ヲ措カズ、大抵ハ先ニ漢籍ヲ讀ミテ、後ニ國文ヲ修メタレバ、是等ノ疎漏ハ、サマデ心ニ感ゼズ、而シテ板本軍書ノ如キニ至リテハ、捨テ假名多キヲ以テ送り假名ヲ畧シタルナリ、且夫古人ハ、假名交リ文ノ中ト雖モ、往々漢文ノ如キ反リアル字句ヲ挿ムコトアリ、是文章ノ體製猶幼稚ニシテ、未ダ十分ノ發達ヲ得ザリシヲ以テナリ、然ルニ方今ハ國家年ヲ遂ヒテ文華ニ進ミ、政府其ノ文柄ヲ執リ、滿天下ノ人ヲ驅ツテ、幼ヨリ學ニ就カシムル時ナレバ、維新以前ノ學ブモ學バザルモ唯其ノ人ノ欲スル所ニ

一任シタル時トハ、大イニ其ノ形勢ヲ異ニセリ、サレバ苟モ文字ニ從事スル者ハ務メテ後生ノ爲メニ其ノ書ヲ讀ムニ易カラシムコトヲ圖ラザルベカラズ、是送り假名ニ一定ノ規則アラシムコトヲ望ムユエンノ第一義ナリ、

送り假名法ヲ立ツルニハ、務メテ簡ニシテ易カラシムコトヲ要ス、譬ヘバ此ニ一法ヲ立ツルモ、其ノ法ノミニテ通ゼザルトキハ、更ニ又特別法ヲ設ケザルヲ得ズ、而シテ此ノ特別法ニ歸スル者多ケレバ、前ノ法ト並ビ立チテ、全ク二ツノ法トナルナリ、此クノ如クシテ法ニ法ヲ重子行クトキハ、終ニ繁冗ニ勝ヘザラントス、故ニ法ヲ立ツルニハ、必ズ條項少クシテ據リ易キヲ以テ第一ノ目的トス、然レドモ只一ニ法ニ任ズルトキハ、是ヲ以テ反ツテ不便ヲ來シ、終ニ法ナキノ勝レルニ如カザルコトアリ、サレバ其ノ間ニ處スルニハ、先ヅ瑣細ノ不便ハ、之ヲ忍ビテ法ニ據ラシメ、而シテ其ノ甚ダ不便ナル者ハ、別ニ之ガ爲メニ一格ヲ設クベキナリ、尙シ瑣細ノ不便ヲモ忍ブ能ハザルトキハ、千歳ヲ經トモ、法ノ立ツベキ期アルコトナシ、故ニ送り假名ヲ一定スルニハ、則チ法ヲ先トシ、便利ヲ次ギトスルノ意ヲ以テセザルベカラズ、

前ニ論ゼシ如ク、送り假名ハ人ナシテ書ヲ讀ミ易カラシメンガ爲メナルモ、或ハ法

ノ爲メニ假名ヲ制限シテ、反ツテ讀ミ難カラシムルコトナシトセズ、然レドモ是百中ノ一ナルガ上ニ、文章ノ勢ヒ必ズ誤讀ノ恐レナキ者ナリ、譬ヘバ「若シ」ト「若シ」ト「盡ク」ト「盡ク」ト「少シ」ト「少シ」トノ類ニテ、形ハ同ジキモ、事ノ上ニ於イテ必ズ讀ミ分ツコトヲ得ルガ如シ、英語「スプリング」ハ「春」泉「彈機」根原等ノ數義アレドモ、前後ノ文ニ由リテ、曾テ誤ルコトナキガ如シ、又「自ラ」ト「自ラ」トノ如キモ、其ノ用ヒ所ニ由リテ、必ず輒ク讀ミ分クベシ、ヨシ誤リテ讀ミ違ヘタリトモ、此ノ二ツハ元同義ノ語ニテ、躬ツカラ「ト」己「ツ」カラ「ト」ナレバ、義理ニ於イテハ少シモ違フコトナキナリ、是等ノ境ニ老婆心ヲ起シテ、裁然タルニ能ハザルトキハ、法ハ終ニ法ナキニ終ルベシ、

法ハ便利ノ最モ多キ處ヲ擇ビテ立ツルヨリ善キハナシ、固ヨリ送り假名ニ原則ナド云フ者アラザルヲ以テナリ、余初メ其ノ規則ヲ日本文典ニ載スルニ方リ、副詞ノ「蓋シ」概子ノ類ハ、其ノ字中ニ「ケダシ」オホム子ノ語ヲ含ミタル者ナレバ、更ニ又「シ」ヲ送り「子」ヲ送ルニ及バズトノ意ナリキ、後西村茂樹君此等ニハ便利ノ爲メ假名ヲ送ラント思ヘド、理ニ於イテ斷ジテ送ルマシヤト問ハレタルコトアリ、余之ニ答ヘテ曰ハク、便利ヨリ云ハバ、送ル方宜シカルベシ、余ガ初メニ理ト思ヒシコトモ、必ズシ

モ理トモ覺エズ、サルハ動詞ノ「飽キ」押シノ「キ」モ、實ハ字中ノ聲ニテ「飽」ハ「ア」押ハ「オ」トノミ訓ズルニ非ザレバ、蓋シト書スモ「概子」ト書スモ何ノ不可アラシ、ト云ヘリシヨリ、遂ニ之ニ決シタルコトアリキ、斯クノ如ク理ハ何レニモ附キテ、是チ原則ト定メ難キ者ナレバ、唯便利多キ方ニ法ヲ設ケテ、其ノ瑣細ノ不便ヲ忍ブヨリ外別ニ良法ハアラザルナリ、

名詞中、動詞ヨリ變ジ來リタル者ニハ、假名ヲ送ルト送ラザルトノ論者アリ、今一切之ヲ送ルコトニ定ム、然ルトキハ、異例ナル「人笑ヘ」空賴メ「振ル舞ヒ」刈ル萱「テド云フ」モ、皆誤讀ノ虞ナカルベシ、其ハ僅ニ二三ニ過ギザルコトナガラ「向キ」ト「向カヒ」渡シ「ト」渡リ「及ビ」往來ス「溺死ス」等ノ如キ、音讀ト訓讀トノ分別ナキ類ハ頗ル多シ、而シテ是等ノ爲メニ謂ハユル特別法ヲ設クルトキハ、則チ例ノ法ヲ繁雜ニスル者ニシテ、法アルガ故ニ反ツテ人ヲ煩ハスニ至ルベシ、又或ハ小學教員ノ中ニハ、讀本中領收書ノ書式ニハ「請取」トノミアルヲ、文章ノ方ニハ「請ケ取リ」トヤウニ假名ヲ送ルハ、實ニ兒童ヲ惑ハスノ基ナリ、ト云ヘル人アリト聞ク、是大イニ辨ゼザルベカラズ、其ノ假名ヲ送ル送ラザルノ可否ハ姑ク舍キ、先ツ第一ニ、文章ト日用ノ書類ト必ズ一致

セシメント欲スルハ、最モ心得難キコトナリ、譬ヘバ電信ノ文ヲ見ヨ、唯箇ニシテ盡スチ主トスルガ故ニ、事ノ辨ズル限リハ、主客モ省キ、天爾遠波モ省キ、助動詞モ省キ而シテ幾千幾百幾十幾箇ト云フハ、唯四ツノ數字ヲ重ヌルノミナルニアラズヤ、今電信ニ斯ク用フル故、讀本ノ文モ斯クセヨト云ハバ、豈理ナランヤ、蓋シ書籍中ノ文章ハ、唯送り假名ノミニ止ラズ、其ノ他ノ事モ、務メテ法ニ據ラザルベカラズ、決シテ暖簾看板領收書ト其ノ科ヲ同ジクスベカラズ、況ヤ我が國ノ尺牘文ノ如キ、舊チ守リテ少シモ進マズ、其ノ文字ノ用法、大イニ書籍中ノ文ニ異ナル所アリ、是等チモ異議ナク授クル者ノ、反リテ「請ケ取リ」ノ如キ書キ方ヲ非難スルハ、豈偏見ノ甚ダシキナラズヤ、若シ「請取申候」ノ類ヲ標準トシテ論ズルトキハ、遂ニ一切ノ動詞ニモ、假名ヲ送ラザルヲ正シトスルニ至ルベシ、斯カル領收書ノ如キ、帳簿ノ如キ、願書ノ如キ文字ノ用法ニ異同アルコトヲ詳カニ教ヘテコソ、教員ノ教員タル所モアレ、其ノ分別ヲ説明スルニ能ハズシテ、之チ書籍ニ一任セントナラバ、教員ノ尊キ所、余其ノ何處ニ在ルヲ知ラザルナリ、

往昔漢字ニ日本ノ譯語ヲ附スルニ方リテハ、實字ト虛字トノ別ナク、吾ガ一語ニ合

フ者ハ一語ニ、二語ニ合フ者ハ二語ニ、三語四語ニ合フ者ハ三語四語ニ訓ジ、必ず實字ニハ名詞、虛字ニハ動詞ヲ充ツベシトハ定メザリシナリ、故ニ「鹽」「兔馬」「鞋」「藁靴」ノ如キアリ、「炎」「火」「穗」「源」「水」「本」ノ如キアリ、「宮」「御屋」「徑」「小道」ノ如キアリ、「鬆」「草」「切」「ル」「瞬」「目」「叩」「ク」ノ如キアリ、「陷」「落」「チ」「入」「ル」「挿」「差」「シ」「挾」「ム」ノ如キアリ、或ハ「詔」「御言」「宣」「リ」「動」「稍」「モ」「爲」「レ」「バ」ノ如キアリ、「將」「當」「使」ノ如キハ、先ツ第一ノ訓ヲ讀ミテ、再ビ下ヨリ第二ノ訓ヲ讀ムニ至ル、此ク便ニ從ヒ、種々ノ詞ヲ組ミ合ハセテ訓シタル者ナレバ、語中ニ合ム文字ハトマレ、斯クマレ、語尾ノ假名ノ送り方ニ於イテハ、理ヲ以テ一定スル能ハズ、是余ガ務メテ便利多キ所ニ就キテ法ヲ求メタルユエンナリ、

送り假名ハ、漢字ノ音訓ト假名トヲ交ヘ書スルニ由リテ生ズル者ナレバ、吾ガ國ノ外ニハアルコトナシ、而シテ之ヲ論ズルハ、文法ヲ論ズルトハ大イニ其ノ趣キヲ異ニス、故ニ文法ハ、詞ノ品種チ一々擧ゲテ之ヲ極ムルヲ專用トスルモ、送り假名ニハ、後詞ノ如キ、感歎詞ノ如キ、本來ノ名詞ノ如キ、動詞中ノ佐行奈行變格ノ如キ、將タ動詞形容詞ノ働キノ下ニ附ク助動詞「行キタリ」「至ルナリ」「善キカナ」「嬉シカリケリ」ノ類ノ如キハ、全ク之ヲ論ズル必要ヲ見ズ、又漢語動詞ノ下ニ添フル「シ」「ス」「セ」「録シ」「書ス」

ノ類漢語形容詞ノ下ニ添フル「タリ」「タル」「及ビ」ノ「肅然タリ」「悠々タル」「堂々ノ陣」ノ類ノ如キ、何人モ萬ガ萬曾テ誤ルコトナキ者ハ、皆説キ及サズ、是送り假名ハ文法ト同ジカラザルヲ以テナリ、

凡例

凡

- 一 漢字ニ送り假名ヲナスハ、本讀ミ易カラシメンノ趣意ナレバ、送ル送ラザルノ分別決シ難キ者ハ、總ベテ送ル方ニ定ム、
- 一 動詞ニテ一タビ定リタル送り假名ハ、名詞副詞接續詞等ニ變ズルトキモ、其ヲ改ムルコトナシ、代名詞ノ副詞トナリ、形容詞ノ名詞又ハ副詞トナルモ、副詞ノ接續詞トナルモ、皆相通ジテ異ナルコトナシ、是法ヲ簡ニシテ守リ易カラシメンガ爲メナリ、
- 一 特別法ハ、原己ムヲ得ザルニ出ヅ、故ニ多ク之ヲ設クルハ尤モ不可ナリ、因ツテ此ノ條中ニハ、務メテ之ヲ設ケズ、唯名詞ノ第六條副詞ノ第二條ノニツアルノミ、
- 一 語尾又ハ助動詞等ニ異ナル所アルモ、理ニ於イテ一法ニ歸著スル者ハ、總ベテ一類中ニ收ム、之ヲ分ツトキハ、イト煩ハシキガ爲メナリ、**高サ**、**低サ**、**強ミ**、**弱ミ**、**チ一類トシ**、**靜カナル**、**古ビタル**、**チ一類トシ**、**近ヅク**、**棹サス**、**法トル**、**横タフ**、**チ一類トスルガ如シ**、

例

送假名大概念

- 一 毎詞題名ノ次ギヘ説約ノ文ヲ擧ゲタルハ、人ノ記憶シ易カラシムコトヲ欲シテナリ、又詞中ノ條項毎ニ一々鄙見ヲ添ヘタルハ、其ノ法ト便トノ理由ヲ説キ、且語原ヲ探リテ、解シ易カラザル詞ノ因ツテ來ル所ヲ明カシタルナリ、
- 一 **我**、**吾**、**余**、**則チ**、**即チ**、**乃チ**、**及ビ**、**行ク**、**往ク**、**適ク**、**之ク**ノ如ク、文字異ナルモ訓釋同ジキ者ハ、其ノ一ニチ擧ゲテ餘ヲ畧シタリ、サレド漢字ヲ使用スル上ニハ、**縱ヒ**、**和譯**ハ同ジトモ、一方ニ字義ヲモ重ンズレバ、此ヲ舍テテ彼ヲ取ルコトアルハ免レザル所ナリ、但シ送り假名ニ差違ナキ者ハ、都ベテ省畧ス、
- 一 附録ノ數條ハ、送り假名ト相待ツテ國文ヲ整フル者ナレバ、是又等閒ニ看過スベカラズ、唯余ガ淺學寡聞ナル、本書ト云ヒ附録ト云ヒ、猶考究ノ盡サザル者多カルベシ、世ノ學者諸君ヨ、書中ノ一語一項ニ論ナク、更ニ便利ノ良法アラバ、幸ヒニ教誨ヲ吝シマザレ、余不敏ト雖モ決シテ之ヲ改ムルニ踴躍セザルベシ、

名詞

名詞ノ送り假名ヲ一括シテ云ハバ、土地姓氏書籍神祠佛宇公廳校舎橋梁船舶等ノ名ハ、如何ナル動詞アリトモ、漢字ノミヲ書シ、普通ノ語ノ動詞形容詞ヨリ變ゼル者ハ、其ノ元ノ形ニ從ヒ、又音訓ノ誤リ易キ者ハ、一字ノ假名ヲ送ル、飽キ 押シ 恥ヂ 報イ 驅ケ 瘦セ

右ハ本四段中二段下二段ノ動詞ナリ、此クノ如キ單純ナル動詞ノ名詞トナルニハ、一切假名ヲ送ラザル論者アレド、之ヲ實地ニ試ムルニ、音訓ノ誤リヲ生ズル者〔便〕ト〔便リ〕〔餘〕ト〔餘リ〕ノ類、又ハ語尾ノ辨シ難キ者〔返リ〕ト〔返シ〕〔暮レ〕ト〔暮シ〕ノ類、多クレバ、總ベテ假名ヲ送ルヲ善シトス、又〔福ヒ〕〔勢ヒ〕ノ類、〔扇ギ〕〔帶ビ〕〔疊ミ〕ノ類モ、名詞トシテハ其ノ體裁宜シカラズト云フ者アレド、一ハ音訓ノ誤リナキ爲メ、一ハ規則ノ不同ナカラシガ爲メニ、是又假名ヲ送ルベシ、入レ替ヘリ 折レ反シ 請ケ取り 書キ付ケ

右二重動詞ノ名詞トナル者ノ中、上ノ二語ノ類ハ、俄ニ見テハ何レモ讀ミ分ケ難

送假名大綱

キ故ニ、二語共ニ假名ヲ送ル、次ギノ二語ノ類ハ、必ズシモ然ラザルモ、一法ニ歸セシガ爲メニ亦之ニ倣フ、燈シ火 願ヒ書 染メ物 植エ木 或ル人 行ク末 來シ方 右上ニ動詞ヲ戴キタル名詞モ、亦其ノ動詞ニ假名ヲ送ル、〔染メ物〕〔植エ木〕ノ類ハ、音讀ニ誤ル恐レナキモ、前ノ類ト一定センガ爲メニ同ジ法ニ從フ、或ル人〔行ク末〕〔來シ方〕ノ類ハ動詞助動詞ノ連體言ヲ被リテ、前トハ少シ異ナレド、熟シテ名詞トスル上ハ、猶此ノ一類タルベシ、後ヘ タベ 童ベ 岩ホ 此ノ類ハ、道理ヨリ云フモ便利ヨリ云フモ、共ニ假名ヲ送ルベシ、士 楯 印 鳶 櫓 峙 硯 紫 紅葉 右何レモ語原ヲ究ムレバ、動詞ヨリ來レル者ナレドモ、此ノ文字ヲ以テ段ノ働キヲ爲サシムルコトモ非ザレバ、皆元來ノ名詞ノ如ク假名ヲ送ラズ、〔鎧〕〔盃〕ノ類モ、今ハ動詞ニ用ヒザレバ、此ノ一類ニ加ヘテ可ナルベシ、公ケ 情ケ 古ヘ 後ロ 爲メ 哀レ 旁ラ

此ノ類ハ本假名ヲ送ルベキニ在ラ子ド一見シテ讀ミ易カラシメラガ爲メニ斯ク書ス此ノ外「上」下「中」下「下」トノ類ハ語尾ノ假名ヲ記サザルモ大方辨ズベシ或ハ讀ミ違フトモ更ニ審クナカルベシ「古」ハ前々條ノ「後」ト同ジ類ニ見ユレドモ「古」ア一字ニ往ニシヘノ訓ヲ與ヘタルナレバ「後」ニ「ヘ」ヲ添ヘタルトハ自ラ異ナリ

善シ 悪シ 悲シミ 樂シミ

形容詞ヨリ變ジテ名詞トナル者ハ右ノ如ク本ノ詞ト同ジ形ニ書ス

代名詞

代名詞ノ送り假名ヲ總括シテ云ハバ「我」「是」「其」「彼」ノ類ニ「レ」文字ヲ送ラザルコトト「何」「如何」等ニ區別アルコトト「二」「三」等ニテ大概ヲ盡セリ、我^ア 我^シ 汝^ナ 汝^チ 彼^カ 彼^カ 已^オ 已^レ 誰^タ 誰^カ
「我」ハ「ワ」トモ「ワレ」トモ訓ズ「汝」以下ノ文字皆同例ナリ唯「汝」トハ後世用ヒズシテ之ニ換フルニ「汝」ヲ以テス

「已」ハ「レ」文字ヲ送ラザレバ「已」ニ「下」誤リ易シト云フ者アリサレド是ハ文義ノ上ニテモ誤ラザルノミナラズ字畫ニ注意スレバ決シテ誤ルコトナシ則チ「オノレ」ト「十干」ノ「ツチ」ノ「ト」ハ共ニ「已」音似ナリ「スデニ」「ヤム」「ヲハル」ハ共ニ「已」音似ナリ「十二支」ノ「ミ」ハ「已」音似ナリ昔ク人モ讀ム人モ善ク此ノ別ヲ辨フベシ

「我が輩」ヲ「我輩」ト書クハ宜シカラズ縦ヒ一ノ熟語ト見做スモ「ガ」文字ハ必ズ送ルベシ是君ガ代「梅ガ枝」ノ類ナレバナリ

是^コ 是^シ 其^ノ 其^カ 彼^カ 彼^カ 何^ニ 如何^{カニ} 何^レ 何^コ 何^コ 何^ト 何^ト 何^ト 何^ト

右事物ニ用フル代名詞モ前ノ人代名詞ト異ナルコトナシ古クハ我ヲ「ア」トモ「アレ」トモ云ヒシガ後世ハ用ヒズ是ノ「其」ノ「等」ハ「ノ」文字ヲ書スルコト勿論ナリ又文字ニ就キテ其ノ差別ヲ云ハバ「是」此「茲」等ハ「コ」トモ「コレ」トモ訓ゼズ畢竟漢文中ノ用ヒ方ニ少シ異同アルヲ以テ訓ニモ自ラ廣狭アルナリ「其」ハ「其ノ」ト誤リ易キニ似タレド「ノ」文字ノ有無ニテ明カニ辨ズベシ

疑問ノ意味ヲ含メル「何」以下ノ六ツハ副詞ト通用スルコト多シ送り假名ハ雙方

形容詞

形容詞ノ送り假名ヲ約メテ言ハバ「シ」キ「善」清「ノ」類「シ」シキ「惡」「嬉」ノ類ノ
働キアル假名ヲ皆送ルコト「静カ」裕カ「ナド」ノ「カ」健ヤカ「賑ヤカ」ナドノ「ヤカ」ヲ送
ルコト等ヲ心得レバ、其ノ餘ハ大抵誤ルコトナシ、

善シ 清シ 添シ 惡シ 嬉シ 樂シ 静シ 遙シ 羨シ 急シ 忌シ 歎シ
ハシ 穢シ 紛シ

動詞ヨリ變ジ來ル「羨マシ」「急ガシ」ノ類ハ、變化ノ文字ヨリ送ルコト勿論ナリ、「好モ
シ」「頼モシ」「狂ホシ」ハ「好マシ」「頼マシ」「狂ハシ」ノ轉ナルベケレバ、是又「モ」「ホ」ヲ送ルベ
シ、「忌マハシ」「歎カハシ」ノ類モ、變化ノ文字ハ「ハシ」ヲ添フベシ、「穢ハシ」「紛ハシ」ノ「ラ」
ハ變化ナラザル故別ニ送ルベカラズ、是等ノ異同善ク察スベシ、
稀ニハ「嬉シ」涙「長々シ」夜「如ク」キ「ヲ」省キテ形容スル者アレド、是等ハ皆一ノ熟語

送假名大概念

ナリ、サレド假名ハ必ズ送ルベシ、右同類中「同ジ」ト云フ語ハ熟語ナラザルトキモ
屢「キ」ヲ省キテ用ヒラル、コトアリ、但シ送り假名ノ上ニハ、サマデ論ズルニハ
及バザルナリ、

「ラシ」ト云フ詞ノ上ニ戴クハ、大方名詞ナレドモ、或ハ動詞ヨリ轉ジテ「羨ラシ」「愛ッ
ラシ」「辱ツカシ」モ同ジ類ナリ「ナド」ト云フモアリ、皆其ノ語ノ下ヘ「ラシ」ト送ルベシ、
高サ 低サ 嬉シサ 苦シサ 静ケサ 長閑ケサ 強ミ 弱ミ

「サ」ハ分量トサマトヲ形容シ、「ミ」ハ意思トサマトヲ形容ス、右嬉シサ「苦シサ」ノ外ハ
誰人モ誤ルコトナカルベシ、「重ダ」「輕ダ」ノ「ダ」モ、形容ノ意ナレドモ、是ハ「酒氣」「鹽氣」
ノ「氣」ト同ジ語ニテ、一種ノ名詞ナレバ、假名ニテ記ストモ、送り假名ニハ非ズ、又「露
ケシ」ト云フ詞ハ、此ノ類ノ中ヨリ變ジタルナルベシ、前ニ示シタル「静ケシ」「遙ケシ」
ノ類ニ、名詞ヨリ變ゼルハ是ノミナレバナリ、

静カナル 裕カナル 小サナル 大ナル 黄ナル 斜ナル 愚カナル 疎ソ
カナル 盛ナル 古ビタル 荒ビタル
「ナル」ノ上ニ冠ル詞ハ、本來何ノ詞タルニ拘ラズ、語尾ニ變化アルカ、音訓ノ誤讀シ

易キ者ハ、此ク假名ヲ送ルベシ「古ビタル」「荒ビタル」ノ類ハ、共ニル「文字」ヲ「文字」ヲ送ルベカラズ、

健ヤカ 賑ヤカ 穩ヤカ 細ヤカ 速ヤカ

是等ノ詞ハ、皆「ヤカ」ヲ送ルベシ、サスレバ「穩シ」「賑ハシ」「細々」ナドト書ク爲メニモ便リ善シ「適サカ」「吝サカ」モ、同ジク「サカ」ヲ送ルベシ、

一ツ 二ツ 三ツ 廿チ 三十チ

「ツ」ハ漢字ノ「箇」ノ義ニテ、數ノ語尾ニ非ザレバ、必ズ別ニ添フベシ「チ」ハ「ツ」ニ同ジク「子」ハ「チ」ノ音ノ濁レルナリ、

動詞

動詞ハ送り假名ノ根本トモ云フベキ者ナリ、今其ノ大要ヲ云ハバ「變化」ノ文字ヨリ送ルト云フコト、一言以テ之ヲ盡セリ、サレド第一ノ變化ハ論ナキモ、再ビ變化スル者「變ヘ」ノ「變ルト」ナル類ト、二重動詞「登リ行ク」ノ類トノ送り方、並ビニ誤讀シ

易キ者「近ク」ト「近ヅク」トノ類ニハ、變化ナキ語尾ヨリ送ルトノ三ツハ、尤モ辨ジ置カザルベカラズ、

飽グケキ 押スヒ 耻ヅチ 報コヒ 驅カハ 瘦ス

右四段中二段下二段ノ働キナナス詞ハ、變化スル假名ヨリ送ル「裏返ス」「氣使フ」「雲立ツ」「目立ツ」「近寄ル」ノ如キ、他ノ詞ト熟シタル動詞許多アレド、何レモ此ノ三法ニ屬ス、

成ナ來ル 逃ノ行ク 生マ替リ 前マ居ル 跳ト入ル 調ヘ難シ 壓シ倒ス 遣リ歸ス

右二重ノ動詞ハ、誤讀シ易キ者ノミハアラザレドモ、總ベテ假名ヲ送ルベキコト名詞ノ條中ニ云ヘルガ如シ、或ハ三重四重ニナリテモ一々假名ヲ送ル「打チ捨テ置ク」「申シ上ケ奉リ候フ」等ノ如シ「挿ム」「壁ク」「抽ヅ」等ノ如ク、一字ニ附シタル二重動詞ハ、猶一語ノ動詞ニ同ジ、改メテ「差シ挟ム」「突ン裂ク」「抜キ出ヅ」ト書クニハ及バザルナリ、

日ハク 申サク 見マク 見ラク 恐ラク

「ハク」ノ反フ「サク」ノ反ス「マク」ノ反ム「ラク」ノ反ルトナル、是ハ本曰フ「申ス」見ム「見ル」恐ル「ナ延ベテ」斯クシタルナレバ、二字共ニ寫スチ正シトス、「恐ラク」ハ、多ク副詞ニ用ヒラル。

試シ 願カ 鑑ミ 夢ミ

「試ミ」ハ「心見」願ミ「ハ」回リ見「鑑ミ」夢ミ「モ」赫見「夢見」ニテ、本二語合シタル者ナリ、「見」ハ一段ノ働キニテ、別ニ變化アルベキヤウナケレドモ、中古以來後「口見」チ後ロムト働カシタルコトサヘアレバ、是等モ皆「ミ」ムチ送リテ働キヲ取ル方便ナリ、
變ル 交ル 聞ユ 興ル

中二段下二段ノ斯カル詞ハ、或ハ變ハル「交ハル」聞ユ「興コル」ト書ク者アリ、是道理ヨリ云フモ便利ヨリ云フモ、斯クマデ送ルニハ及バザルナリ、其ノ故ハ「變ル」交ルハ、本ノ語ナル「變フ」交フノ時ヨリ「ハ」ノ變化アル詞ニ非ズ、聞ユ「興ル」モ亦「コ」ノ變化アル詞ニ非ザレバナリ、況ヤ此ノ假名ナクトモ他ニ誤リ讀ム愛ヘナキチヤ、
食ヒ 訪ヒ 誘ヒ 畏ル
「食ラヒ」訪ラヒ「モ」皆變化ハ「ヒ」ニ在レバ、是ヨリ送ルベキ理ナレドモ、「食ヒ」訪ヒ「ト」ノ

別ナキ故斯ク書スルヲ便トス、「誘ヒ」誘ナヒ「畏ル」畏マル「ハ」義ハ同ジキモ訓異ナル故、亦之ニ做フ、

書カス 合ハス 食ハス 興ス 落ス 懲ス 出ス 顯ス 枯ス

初メノ三語ノ如ク四段ノ働キヨリ轉シ來ル者ハ「カ」ハ「等」ノ變化アル字ヨリ送ル、
「及ス」ハ四段ヨリ轉シ來レドモ、「ボ」ノ聲變化ニハ非ズ、次ギノ三語ノ如ク中二段ノ働キヨリ轉シ來ル者、又次ギノ三語ノ如ク下二段ノ働キヨリ轉シ來ル者ハ「ス」ヨリ送ル、「ス」ノ上ニ接スル聲ハ其ノ語ノ變化ノ字ニハ非ザレバナリ、
「盡キ」盡ク「ト」云フ中二段ノ語ノ盡シ「盡ス」トナルニモ、「ク」ヲ送ルベカラズ、斯カル終止言ニ「ス」ヲ添ヘテ働カスハ、他ニ例ナキコトナリ、「過ス」ヲ「過ス」ト云フコトハアレド、他ハ皆落ス「懲ス」ノ如ク、於ノ段阿ノ段ナドノ聲ヨリ接ス、俗言ニ「愛想ヲ盡カス」ト云フ如ク、「カ」ノ聲ナドヨリ接スベキチ「ク」ヨリ接スルハ特例ナリ、サレドトニ斯クニ變化ノ字ト思ヒテ送ルハ宜シカラズ、「落ス」懲ス「ノ」ト「ラ」等ノ聲ト同ジ者ト心得ベシ、

伴ナフ 罪ナフ 音ナフ

語尾ニ「ナフ」ト著ク詞ニ二種アリ「行フ」「贈フ」ノ類ハ元來一語ニテ「ナ」文字猶字中ニ合メリ然ルニ右ニ舉ゲタル類ハ名詞ニ「ナフ」ヲ添ヘテ働カシタル者ナレバ「皆」ナフト送ルベシ。

安ンズ 甘ンズ 輕ンズ 肯ンズ 諳ンズ

右ハ「安クス」「甘クス」「輕クス」ノ轉訛ニテ本ハ副詞ト動詞トノ合シタル者ナリサレド今ハ併セテ一ノ動詞ト見做スコト當前ナルベシ「肯ンズ」モ語原ハ明カナラザレドモ「ニ」ナリニ轉ジタルナルベシ「諳ンズ」ハ「空讀ニス」ノ畧ナリ「空」ニ「ナラント」云フ者アレド斯クテハ物ヲ忘ル、方ノ義ニナルナリサレバ「安ンズ」「甘ンズ」ノ一類ニハ非ザレドモ其ノ書キザマノ同ジキニ由リテ姑ク此ノ中ニ加フ、

近ヅク 遠ザク 名ヅク 傷ツク 指サス 棹サス 法トル 司ドル 實ノル 名ノル 連ナル 異ナリ 横タフ

右ハ名詞又ハ形容詞ヲ載キタル動詞ナリ漢文ニテハ一字ニテ斯カル意義ニ用フレドモ日本ニテハ斯ク訓セザレバ通ゼズ「動詞ノ第一條ニ云ヘルトハ此ノ所ニ差ヒアリ」近ヅク「遠ザク」ノ類ハ「近ク」「遠ク」ト誤ラザランガ爲メニ斯ク書シ「指サ

ス」ハ「指」スト誤ラザランガ爲メニ斯ク書ス因ツテ之ニ倣ヒ其ノ誤リノ恐レナキ「法トル」「司ドル」ノ類モ皆一法中ニ收ムサレド「導ク」「耕ス」ノ類ハ「道」トモ「田」トモ讀ム字ナラ子バ語尾ノ變化ヨリ送ルベシ此ノ差別善ク思フベシ、

「連ナル」ハ「連爲ル」ナリ故ニ規則動詞羅行四段ノ働キヲナス「異ナリ」ハ「異ニ在リ」ナリ故ニ不規則動詞羅行四段ノ働キヲナスサレド假名ハ共ニ「ナ」文字ヨリ送ルベシ、

「横タフ」ハ他ニ類ナキ語ナレド亦此ノ中ニ加フベシ俗ニ「敵對」ヲ働カシテ「敵タフ」ト云フ者アレバ「横帶」ヨリ訛レルカ若シハ「ウロタヘ」ヲ「ウロタフ」ト働カシタル類ナルカ、

関ス 欲ス

右ノ二ツハ動詞ヘ重子テ「ス」ヲ添ヘタルニテ「持リス」「浴ミス」ト云フト同ジ類ナリ「関」ハ本「毛見」ナリ「稻」ノ生長シタルヲ毛ト云フ「欲」ハ本四段働キノ詞ナレド其ノ働キ久シク廢レタリ「倦」ズト云フ詞ハ之ニ反シ本ノ働キ「倦」ハ存シテ「倦ズ」ノ方ハ廢レタリ但シ「関」モ「試ム」「鑑ム」ノ如クニハ働カズ「欲」モ「欲ラン」「欲ル」等ノ働キ絶エタ

レバ直チニ「シ」「ス」セテ添フル方宜シカラン、

「來ル」ト云フ語ハ、元來「來」ヘ助動詞ノ「タリ」ノ添ハリタルナレドモ、併セテ一ノ動詞トシテ、今ハ「來リタリ」トモ使ヒ、又「タリ」ヲ生質ヲ變ジテ「來ル」ヲ終止言トシ、又或ハ「來ス」トモ使フ程ナレバ、斯ク假名ヲ送ルベシ「來タリ」本來ハ之ヲ終止言トスト使フトキハ自ラ別ナリ、

春メク頃 蠢メク蟲 渡セル橋 流ル、水

右ノ如ク動詞ヲ以テ名詞ヲ形容スルハ、則チ分詞ナリ、今語尾ノ働キニ從ヒ動詞ノ中ニ收ム、是ノ類「蠢メク」ナドノ外ハ、大抵送り假名ヲ誤ルコトナシ、

副詞

送り假名ノ困難ナルハ、副詞ヨリ甚ダシキハナシ、凡ソ一原ナル詞モ、其ノ使用ニ由リテ、動詞ニモ名詞ニモ將タ形容詞ニモナルハ、當前ノ事ナレドモ、副詞ニ至リテハ、何レノ詞ヨリモ不規則ニ轉ジ來ル者アルガ故ニ、尤モ其ノ區別ヲ立テ難ク、

又本來ノ副詞モ、送り假名ナクテハ、屢々音讀ニ誤ル恐れアレバ、副詞ノ一篇ノミハ、道理ニ由ランヨリモ、寧ロ便宜ニ就クコト肝要ナリ、サレド法ノ立ツベキ限リハ之ニ從ヘリ、

副詞ノ送り假名ノ大畧ヲ云ハバ、本來ノ副詞ハ一字ヲ送り、形容詞代名詞動詞等ヨリ變ズル者ト「ニ」ヲ履ム詞ノ他ヨリ來ル者トハ本ノ形ニ從ヒ、而シテ重子詞ハ下ニ搖リ字ヲ添フ、

蓋シ 先ヅ 若シ 則チ 將タ 寧ロ 甚ダ 獨リ 斯ク 殆ド 漸ク 恰モ
頗ル 盡ク 但シ 最モ 暫ク 聊カ 縱ヒ 未ダ 替テ 頓テ 轉タ 凡ソ
概子 故ラ 或ハ 強チ 自ラ 手テ 必ズ 苟モ 況ヤ 剩ヘ 併ラ

斯ク本來ノ副詞ナル文字モ、訓ニ由リテ考フレバ、凡ソニツノ分チアリ、第一ハ「蓋シ」先ヅ「若シ」則チノ類ニシテ、是單純ナル一語ノ副詞ナリ、第二ハ「概子」大旨「故ラ」(殊更「必ズ」假ナラズ)況ヤ「言ハンヤ」ノ類ニシテ、是等ハ種々ノ詞ノ合シタル者ナリ、サレド今ハ其ノ漢字ヲ目當テトシテ、一様ニ副詞ト見做スコトナリ、
第一ノ單純ナル副詞モ、誤讀ナカラン爲メニハ、語尾ノ假名ヲ送ルヲ便利トシ、又

第二ノ種々ノ詞ノ合シタル副詞モ、同ジク然スルヲ便利トス、若シ其ノ詞ヲ析キテ「必ナラズ」「元ハシヤ」ト書クトモ、唯煩ハシキノミニテ、別ニ正シキニモ非ズ、且ツ「概子」「凡ソ」ノ如キハ、何處ヨリ送ルベシヤ終ニ定メ難シ、故ニ何レモ斷ジテ語尾ノ一字ヲ送ルヲ便トス、

又 且 猶 唯 元 稍 儘 皆 昔 今 否

是等ハ前條ノ第一ノ類ニ屬スベキ者ナレドモ、誤讀ノ恐レモアルマシケレバ、是ノミハ特ニ假名ヲ送ラズ、

「否」ハ前ノ語句ヲ非トスル詞ニテ、用法他ノ者ト異ナレドモ、亦此ノ一類トシテ假名ヲ送ラズ、「シカラズ」ト訓ズルトキハ、動詞タルコト勿論ナリ、

「相見ル」「相語ル」ノ「相」ハ「本合ヒ」ノ義ナレバ、日本語ニテハ動詞ナレドモ、漢字ニテハ動詞ニハアラデ、純粹ノ副詞ナル故、文字ヲ目當テニ副詞トスルヲ好シトス、且語尾モ一定シテ移ラザル故、假名ヲモ送ラザルベシ、(名詞ノ「入り相ヒ」「相坂」ハ、當テ字ニ填メタルナリ、)

只 管 縱 使 許 多 幾 何 若 干

右二字ヲ併セテ訓ヲ下シタル者ハ、語尾ノ假名ヲ送ラズ、中ニハ音訓兩用ノ文字モアレド、何レニ讀ミテモ妨ゲナカルベシ、(「縦ヒ」ト書キ「幾バク」ト書クハ自ラ別論ナリ)

善ク 清ク 小サク 大キク 悪シク 嬉シク

右形容詞ヨリ變ジ來ル者ハ、本ノ詞ト送り方ヲ同ジクス、「大キク」ハ「大キニ」トモ用フ、

屢々 各々 偶々 抑々 世々 愈々 熟々 情々 諸々

此ノ類ノ重子詞ハ、假名ノ送り方、人ニ由リテ皆不同ナルガ、何レモ一得一失アリ、其ノ「屢」「偶」トヤウニ一字書シ置クハ、理ニ於イテ正シケレドモ、時ニ音讀ノ誤リアリ、又疊字ノ「答符」々ヲ添フルトキハ、漢文ノ「世世」各各「數數」ナドト用ヒタルト辨別ナシ、稀ニハ「屢バ」「偶マ」ト書シタルモ見ユレド、是モ然ルベカラズ、「各ノ」「ナドハ」「ノ」文字語尾トハ思ハレズ、又小サキ搖リ字即チ「々」ヲ捨テ假名ニ著ケタルモアリ、是モ體裁上善シトモ見エズ、種々ノ書キ方ヲ比較スレバ、文部省編輯局ニテ定メタル其ノ字ノ下ニ假名ノ搖リ字ヲ添フル方、先ヅハ理ト便トノ中間ヲ得タル者ナ

ランカ、此ノ外、ホトホト「大方」ホトンドト云へバ、殆ドト書シテ、「蓋シ」先ヅナドノ一類ニ見ルベシ、「ヤウヤウ」ハ「稍」ノ延ビタル語ニテ「漸」ノ字ニ當レド、「漸」ハ「ヤウヤク」トノミ訓ズル故、是又殆ドト同ジカルベシ、

既ニ 誠ニ 眞ニ 遂ニ 故ニ 遙カニ 平カニ 大ニ 徒ニ 徒ラニ 直ニ
直チニ 詳ニ 詳カニ 長ヘニ 長ナヘニ 愚カニ 疎ソカニ 忽チニ 忽セ
ニ 穩ヤカニ 速ヤカニ 巧ミニ 試ミニ 頻ニ 愍ニ 互ニ 妄ニ 漫ニ
恣ニ 蔑ニ

語下ニ「添」ヘテ副詞トスル者ニ種々ノ生質アリ、故ニ其ノ書キ方又同ジカラズ、「遙カニ」「大キニ」ノ類ハ形容詞ト同ジキ語尾ヲ送ル、「徒ラニ」「直チニ」ハ「徒ニ」「直ニ」ト別ツ爲メ、「ヲ」「チ」ヲ送り、「巧ミニ」「試ミニ」ノ類ハ動詞ト同ジキ語尾ヲ送ル、「頻ニ」「愍ニ」「互ニ」「妄ニ」「漫ニ」ハ、此ノ文字ニテ「頻ル」「愍フ」「互フ」「妄ル」「漫ル」ト用フルコトナク、全ク動詞ノ働キヲ作サザル者ナレバ、猶名詞ノ「士」「楯」動詞ノ「閱ス」「欲ス」ノ如ク、語尾ヲ送ラザルヲ善シトス、(前ニ云ヘル「相」ノ字モ、是ト一理ナリ、)
漢文ニテハ「立」ノ一字ヲ「タチドコロ」ト訓ズルコトアリ、是等ハ、國文ニテハ「立チ

所ニト書クヲ正シトス、

益スミク 代ルミク 行クミク 見スミク 次ギミク 返スミク

右ハ動詞ヲニツ重子テ副詞トシタル者ナリ、漢文ニテハ唯一字ニテ重子詞ノ意ニモ用フレドモ、我が國ノ文ニ書スルニハ、此ク動詞ノ語尾ニ副フルニニツノ搖リ字ヲ以テスルコト、尤モ便利ヨク覺ユ、

初メテ 總ベテ 極メテ 兼子テ 反ツテ 至ツテ 因ツテ 敢テ 以テ 須
ラク 庶幾ハクハ 恐ラクハ 或ハ 動モスレバ

右ハ何レモ動詞ノ書キ方ト異ナルコトナシ、「敢」ノ字ハ「敢フ」トモ「以」タントモ働カスコトアラザレバ、前ノ「頻ニ」「愍ニ」ノ例ニ倣ヒテ、語尾ノ字ヲ送ルベカラズ、

豈 何 如何 何爲レゾ 焉
「豈」ハ今副詞ニノミ用フレドモ、本ハ「何」ト異ナルコトナシ、「何」ハ多ク疑問代名詞ニ用ヒラル、是ハ「ナ」ニト云フ語ニテ、「ナ」ト「三」ト合シタルニ非ズ、「ナド」ハ「何ト」「ナゾ」ハ「何ッ」ノ略ナレバ、何ノ字ハ「ナ」ニ又ハ「ナ」ト訓ムベシ、「如何」ハ「ニ」「ン」等ヨリ送ルベシ、「何」ト「如何」トノ送り方ノ同ジカラザルハ、語ノ生質異ナルヲ以テナリ、「如何ガ」

トハ云ヘド「ナガ」トハ云ハヌニテ悟ルベシ。斯ク別ツトキハ「何事」「何程」「何様」「何時」「如何ナル」「如何程」「如何様」ナドト書スルニモ、通ジテ一定ス。「何」ノ字ヲ「何^{イカ}」トナレバ「下用フルトキハ」「如何^{イカ}」ノ如ク「^ニ」ヲ添フベシ。

接續詞

接續詞ハ、副詞ト相通用スル者尤モ多ク、動詞ヨリ變ジ來ル者之ニ次グ、其ノ假名ノ送り方ハ、副詞動詞ノ時ト異ナルコトナシ、

則チ 將タ 況ヤ 剩ヘ 併ヲ 又 且 及ビ 並ビニ 因ツテ 尋イデ 以テ 而シテ 雖モ

「及」ノ字、古クハ「マタ」ト訓ジ、或ハ「ト」與ノ義トモ訓ジタレド、後世ハ動詞ノ時ノ訓ミ方チ其ノマ、ニ用ヒテ接續詞トス、而シテ「ハ」而モ「ト」モ云フコトアレバ「シテ」ト送ルチ善シトス、雖モ「ハ」言ヘドモ「ニ」テ、動詞ト後詞ト合シタル者ナルガ、動詞トモ副詞トモ定メ難ク、先ヅハ接續詞トスル方、當チ得タルガ如クナレバ、玆ニ收ム、

是ハ送り假名ナクトモ、チサミク讀ミ誤ル恐レハ非ザレドモ、猶副詞ノ第一條ノ例ニ倣ヒテ一字ヲ送ル、

加之 就中

斯ク漢字チ二字用フル類ハ、訓ノ詞ニ拘ラズ、唯文字ヲ目當テニ接續詞ト見做シテ、假名ハ全ク送ルベカラズ、但シ是等ハ、然ノミナラズ「中」就ク「下」書スル方、國文ノ體ニ稱フ、

送假名大概

終リ

附錄

世人文章ヲ屬スルニ方リ、其ノ最モ不規則ナルハ送り假名ナルガ、猶其ノ外文文字ノ書キ方用ヒ方等ニ於イテモ、異同アル者寡シトセズ、是等モ亦一定ノ規則ヲ設ケテ、國文ノ書法ヲ整ヘンコトヲ欲ス、因ツテ其ノ中ノ稍肝要ナル者ヲ擇ビ出シテ附録トス、

安達太郎山岩代 驛館川豊前 入野材叢岐 大佛氏 香橙木 射干草 海鷄魚

右ノ如キ讀ミ分ケ難キ文字ハ、必ズ假名ヲ附クベシ、形象文字ハ目ニ入り易キ一得アレドモ、或ハ是ノミニテハ辨ジ難キ一失モアリ、故ニ是等ハ必ズ假名ヲ附クベシ、然スルトキハ其ノ文字ヲモ言葉ヲモ知リテ、兩得ノ益アリ、(支那小説ナド、目ニ遠キ熟字ヲ取り來リテ、意譯ノ旁訓ヲ附クル如キコトハ、大イニ國文ニ害アレバ、是等ハ一切杜絶スベシ)

帝イ 父母ハ、祖父 男 乳母 今年 昨日 今日 舟人 商人
唐モ 事リ 術ス 故郷 千歳 萬世 十六夜

右ノ外音訓又ハ兩訓何レニモ讀ミ得ベキ文字甚ダ多シ、大抵文勢ニ由リテ何レ

ナリヤヲ知ルト雖モ、若シ必ズ誤讀ナカラシメント思フ者アラバ、假名ヲ附クルヲ善シトス、(平假名交リノ文ニハ、儘假名ニテ書スモ可ナリ、)

事 コト 時 トキ 者 モノ 程 ホド 儘 マ、 計リ バカリ 故 ユエ 右ノ類ハ、文章中文字ヲ用フルモ假名ヲ用フルモ妨ゲナシ、但シ一文章ノ中ニ於イテハ、務メテ不同ナカラシテ要ス、

「行クコトアラバ」行クトキハ「ナド」ノ「コト」トキハ、假名ニテ可ナレドモ、事物日時ヲ指ストキハ、必ズ漢字ヲ用フベシ、者ハ漢字ニテモ假名ニテモ、其ノ人ノ好ミニ從フベシ、但シ此ノ字ハ「物」ノ字ト和訓同ジケレドモ、漢文ニテハ用法同ジカラザル故誤リナキヤウニ注意スベシ、儘モ「故」モ、副詞接續詞等ニハ、必ズ漢字ヲ用フベシ、

有ラズ 在ラズ 非ズ

右三種、詞ノ上ニテハ同一ニシテ替ラザレドモ、漢字ニテハ各々同ジカラズ、有ラズハ常ニ假名ヲ用フル故、論ズルニ及バズ、在ラズハ「家」ニ在ラズ「ナド」ト書キテ、人ナレバ其處ニ居ラズ、事物ナレバ其處ニ無キヲ云フ、有リ「在リ」ノ別モ、斯クノ如シ、

竟自動詞ト他動詞トノ差ヒアルナリ、非ズハ「是」ノ字ノ反對ニテ、此クハアラヌノ義ナリ、

悠々 漸々 晴ル、 ホノミミ をさく、

「悠悠」漸漸ト正畫ニ書スハ、固ヨリ論ナシ、サレド普通ノ書ニハ、畧字ヲ用フルコトモ古來ノ通習ナレバ、是モ一概ニハ斥ケ難キナリ、

支那ニテハ、漢字ノ畧符ニ多ク「ニ」ヲ用フレドモ、吾ガ片假名ノ「ニ」文字ニ紛ハシケレバ「々」ニ從フヲ善シトス、「々」ハ「全」ナラントノ訛アリ、假名ノ疊字「晴ル」、「分ル」、「如キモ」、一語中ノ重音ナレバ常ニ畧符ヲ用ヒテ妨ゲナシ、問ハバ「捨テテ」ノ如キハ、畧符ヲ用フベカラズ、サルハ「問ハ」ト「バ」トハニツノ語「捨テ」ト「テ」トモ亦ニツノ語ナレバナリ、又平假名二字ノ略符ハ、元來支那ノ二字ノ畧符ノ如ク、字ト字ノ中間ヨリ、下ヘ掛ケテ書キ下スヲ古キ法トスレドモ、今ハ二字ノ下ヘ別ニ寫スヲ普通トス、

所謂 所以 頃者 數多

上ノ二語ノ類ハ、既ニ送り假名ノ接續詞ノ條ニモ云ヘル如ク、成ルベクハ疊テニ

書キ下スチ善シトス「頃者」ハ此ノ頃「下云フト少シ異ナル故此ノ字ヲ用フル方便利ナリ、

三十六

ワラハ マシマシ ナカニキ ヲリニキ サレバ アラマシ カヒ 何デウ
何トゾ 此ナタ 其ナタ 彼ナタ

是等ノ中漢字ノ充テ難キ者ハ假名ヲ用フベシ、羨「ワラハ」ト讀マスニハ假名ヲ附ケベシ、童ハ別ナリ「マシマシ」ハ畧符ヲ用フベカラズ、「マシマス」トモ働ク動詞ナレバナリ、「ナカニキ」ヲ「中々」ナリニキ「ナ折リニキ」ト書ク類ハ當テ字ナレバ成ルベクハ用フベカラズ、聲ヲ借リテ隨意ニ字ヲ填メタルモ、萬葉集以後久シク行ハレ來リシコトナレバ、容易ニハ改メ難キモ、今ヨリ後ノ文章著書等ニハ務メテ避クベキコトナリ、「カヒナシ」ヲ「甲斐ナシ」頼モシ「ヲ頼母シ」一箇月ヲ一ヶ月ト書ク類、今ハ必ズ斯クセザレバ稱ハザル程ニマデナレリ、故ニ是等ノ慣用ハ俄ニ破リ難カルベシ、此ナタ「其ナタ」ノ類ハ、斯ク書スチ便トス、此處「其處」ハ、皆文字ナル方宜シカルベシ、彼處「ノシ」ハ休メ字ノ如クニモ聞ユレド、語原明カナラザル故、唯自然ニ添ハリタル音ト見做スベシ、殿バラ「奴バラ」ノ「バ」ノ如シ、但シ此ナタ以下

ノ數語ハ、平假名交リナドノ文ニハ、全ク假名ヲ用フルモ可ナルベシ、
打ツテ 因ツテ 盛ンニ 中ン就ク 據ン處ナク ユエン

此ノ類ハ、皆一ツノ訛音、又ハ餘聲ヲ添ヘタル者ナレドモ、文章上其ノ氣勢ヲ寫ス爲メニハ、欠クベカラザル者ナレバ、聲ノマヽニ寫スチ善シトス、「ウ」ト「ツ」トノ三音ノ辨ハ、余曩ニ委シク記シタル者アレバ、此ノ書ノ終リニ添ヘ置クベシ、
合ハセ 併セ 向カヘ 迎ヘ 入ル 納ル

「併セ」ハ他動ノミニテ、「合」ノ字ノ如ク併ハントハ働カズ、故ニ「ハ」文字ヲ添ヘズ、「迎ヘ」モ他動ノミニテ、「向」ノ字ノ如ク迎カントハ働カズ、故ニ「カ」文字ヲ添ヘズ、「迎ヘ」ハ下二段ノ働キナレバ、「迎ヒ」ト書クハ誤リナリ、「納ル」モ同ジク他動ノミニテ、「入」ノ字ノ如ク「納ラン」トハ働カズ、世俗常「入」ノ字ヲ「納」ノ字ノ處ニ用フ、今救ヒ難シ、猶此ノ類多シ、皆字義ヲ詳カニシテ假名ヲ送ルベシ、是ノ類ハ旨ト送り假名ニ屬スルコトナレドモ、之ヲ擧グベキ條項ナカリシ故茲ニ附記ス、

「ウ」三音ノ辨

我が國ノ言葉ノ中ニ、中昔ヨリ「久シク」ト云フベキヲ「久シウ」ト云ヒ、「旅人」ト云フベキヲ「タビウト」ト云フ類ヲ音便ト名ツケタリ、此ノ「ウ」ヲ論ズルニ方リ、先ヅ唐音ノ事ヲ少シ云ヒ置クヲ便利トス、サテ唐音ニテ「東」上「廣」ト云フハ、「ン」ノ音ヲ合ハセテ發スル程強キ故、洋字ニ寫スニハ「ng」トヤウニ末ニ「g」ノ字ヲ添フ、即チ「北京」ヲ「Peking」香港ヲ「Hongkong」楊子江ヲ「Yangseking」ト書スルガ如シ、然ル程ノ韻ナル故、朝鮮ニ傳リテハ「東」上「廣」ト「ン」チ一層強ク「グ」ニ變ジタリ、サルチ日本ヘ傳リテハ「東」上「廣」トヤウニ「グ」チ和カニ發シテ、「ウ」トナシタリ、是等ハ文字ハ「ウ」ナレドモ、上ノ音ノ響キニ因リテ、聲ハ「オ」ノ如ク聞ユ、ト、ニ斯クニ唐音ノ「ン」ヨリモ、朝鮮音ノ「グ」ヨリモ、引キ延ベテ和カナル音トナレリ、

五十音ノ中、縦ノ行ノ五音、横ノ段ノ十音ノ互ニ相通フハ、共ニ音便ニ相違ナシ、行ハ發音チ同ジクシ、段ハ母音チ同ジクスレバナリ、譬ヘバ「阿行」ニテハ「甘」シ「旨」シ「才」チ「才」魚「才」魚「嚴」シ「才」美「シ」ト云ヒ、加行ニテハ「木」ノ葉「木」ノ葉、多行奈行麻行ニテハ、「手」ノ心「才」掌「目」ノ尻「才」指「才」指ト云ヒ、阿ノ段ニテハ「走」ル「走」ル「字」ノ段ニテハ「尊」ム「尊」ム

「ト」云フガ如シ、然ルニ斯カル關係モナキ「旅人」ノ「ヒ」チ「ウ」トスル類ヲ音便ト云フハ、如何ニモ不審ノ至リナリ、サレバ如何ニシテ「ヒ」チ「ウ」トシタリヤト云フニ、世ノ移リ代ルニ從ヒ、中昔ヨリ「久シク」チ「久シウ」トカク「チ」トカウ「ト」云フ如ク、言葉チナダラカニ使フコト起リタルニ由レリ、此ノナダラカト云フハ、畢竟一ツノ訛リニテ、開音ナドノ言葉ノイト明カナルチ柔カニ聞カセンガ爲メニ、殊更音チ曇ラセテ呼ブナリ、其ノ用ヒ方ハ、名詞ニマレ動詞ニマレ、將タ形容詞ニマレ、何ノ行何ノ段ト云フ差別ナク、其ノ言葉ノ都合ニ由リ、他ノ音チ「ウ」ニ變ジテ引キ延ベ呼ブナリ、故ニ「旅人」チ「タビウト」古事記萬葉集等ニ「旅人」東人ト讀マセタルハ、畧シタル言葉ナリ、隼人ト云フモ同ジ、マキイヅ「才」詣「才」マキノボリ「才」マウノボリト云フ類ハ、伊ノ段ノ音チ「ウ」ニ替ヘテ呼ビ、蝙蝠「才」カウモリ「才」ハウキ「河内」チ「カウチ」ト云フ類ハ、阿ノ段ノ音チ「ウ」ニ替ヘテ呼ビタルナリ、猶「事」ヘマツリ「才」事ウツマリ、「夫婦」チ「メウト」ト變ジテ云ヘルアリ、是等モ皆音便ト云ハバ、「ウ」ノ音便ハ何レノ段ニモ皆通ズト云ハサルチ得ズ、如何ナル國ニテモ、サル妄ナル音ノアルベキコトカハ、

ニ非ザルコトハ明カナリ、其ノ延ベテ云フニ付キテハ、伊ノ段ノ外ハ「マウノボリ」チ
ドハ、猶「オ」ノ如ク響ク、皆上ノ音ヲ受ケテ、「オ」ノ如ク響クナリ、サルチ「猶」ウチ用ヒ來レ
ルハ、初メ唐ト朝鮮トノ音ヲ和ゲ延ベテ呼ブニ、「東」上「廣」トヤウニセシ故、夫ニ由リ
テ、延ベ和グル聲ニハ皆「ウ」チ用ヒ來レルナルベシ、字音モ初メハ「ウ」ノ音ヲ正シク發
シタルナリ、然ラザレバ「夫婦」申スノ類ハ、殊更「ウ」ニ變ズルニモ及バザルコトナリ、之
ヲ要スルニ斯カル所ニ用フル「ウ」ハ、如何ニ響クトモ、唯言葉ヲ延ベ和グル爲メノ符
號ト思フベキナリ、

右ニ就キテ更ニ云フベキコトアリ、我が國ニテハ、中昔ヨリ四十七音ノ外ニ二ツノ
異ナル音出デ來レリ、「ハ」「ン」「ハ」「ツ」ナリ、「ン」文字ハ片假名モ平假名モ「ム」下分ツ爲メ
新ニ製リ出シタルガ、「ツ」文字ハ姑ク借り用ヒタルニテ、常ノ「ツ」トハ大イニ異ナリ、此
ノ二音ハ、前ノ「ウ」ト同ジク、言葉ノ開ケ行キ移リ行クニ從ヒテ、自ラ無クテ稱ハザル
者ナリ、其ノ必要ナル謂ハレハ、人物言語ノ意氣狀勢ヲ文ニ寫スニハ、是等ヲ以テセ
ザレバ、其ノ緩急強弱ノ態ヲ詳カニ示ス能ハザルコトアレバナリ、其ノ和グルニハ
「ウ」チ用ヒ強ムルニ「ハ」「ン」ト「ツ」チ用フ、此ノ「ン」「ツ」ノ二音モ、何レノ段ヲ問ハズ、言葉ノ都

合ニ由リテ使フベキコト、前ニ既ニ「ウ」ノ音ヲ論ジタルガ如シ、勿論言葉ニ因リテ「ン」
チ用フベキ者ト「ツ」チ用フベキ者トノ差別アリ、「ン」ノ用ヒ方、阿ノ段ニテハ「童」
ランベ「蒲原」チ「カンバラ」伊ノ段ニテハ「何」チ「ナン」死ニテ「チ」死ンデ「宇」ノ段ニテハ「鯛」
ノ魚「チ」チンノ魚「止ムコトナシ」チ「止」ンゴトナシ、於ノ段ニテハ「懇」チ「子」ンゴロ「ホト
ホト」チ「ホト」ンド「ト」云フノ類ナリ、「ツ」ノ用ヒ方、阿ノ段ニテハ「童」チ「ワツバ」
「眞赤」チ「マツカ」伊ノ段ニテハ「行」キテ「取」リテ「チ」行ツテ「取」ツテ「宇」ノ段ニテハ「法師」チ「ホツシ」
「尊」ミ「チ」タツトミ「ヨク引イテ」チ「ヨツ引イテ」下云フノ類ナリ、又「ウ」ト此ノ二音トハ、言葉
ノ間ヘ殊更ニ挿ミ納レテ、其ノ緩急ヲ示スコトアリ、「タベテ」チ「緩」メンガ爲メニ「タウ
ベテ」下云ヒ「符」チ「緩」メンガ爲メニ「タカウナ」下云ヒ「侍ル」チ「強」メンガ爲メニ「ハ
ンベル」
「眞名」假名「チ」強メンガ爲メニ「マンナ」
「カンナ」ト云ヒ「専ラ」全ク「明後日」チ「モツバラ」マ
ツタク「アサツテ」下云フガ如シ、「女」チ「ウナ」トモ「チンナ」トモ云ヒ「見」
「受」ケン「チ」見
ウ「受」ケウ「下」云ヘルモ、皆其ノ緩急ニ由ルコト推シテ知ルベシ、
古キ學者事フマツルノ類ハ、事ヘマツリノ音便ニテ「ウ」ニ變ジタルナレバ、「フ」文字チ
使フハ誤リニテ、必ズ「ウ」文字チ用フベシト云ハレタリ、其ノ音便ナラザルコトハ前

ニ委シク辯ジタルガ、元來言葉ヲ延ブル爲メニ「ハ」ヲ「ウ」トシタルナレバ「ウ」ヲ用フベシト云フモサルコトナレド、言葉ノ延ビテ聞ユル上ハ「フ」ニテモ妨ゲアルコトナシ、是ヲ「フ」ノ本音ニ呼ブコトナラバ、惡シキ理リモアルベケレドモ、延ベテ呼ブニハ「ウ」ノ用ヒ方ト少シモ異ナルコトナキガ上ニ、「ウ」トテモ其ノ字ノ本音ニハ呼バザルチヤ、サラバ波行ノ動詞ハ「フ」文字ヲ用フル方卻ツテ簡便ナリ、同ジ音聲ニ聞ユルガ上ニ、理ニ於イテモ障リナキチ「事フル」ノ時ハ「フ」文字ヲ用ヒ「事フマツル」ノ時ハ「ウ」文字ヲ用フベシトシテハ、如何ニ煩ハシキコトナラズヤ。

明治廿八年十月五日印刷
全 十月八日發行

定 價 金 拾 錢

著 作 者

中 根 淑

東京市本郷區曙町十六番地

發行兼
印刷者

金港堂書籍株式會社

東京市日本橋區本町三丁目十七番地

右社長

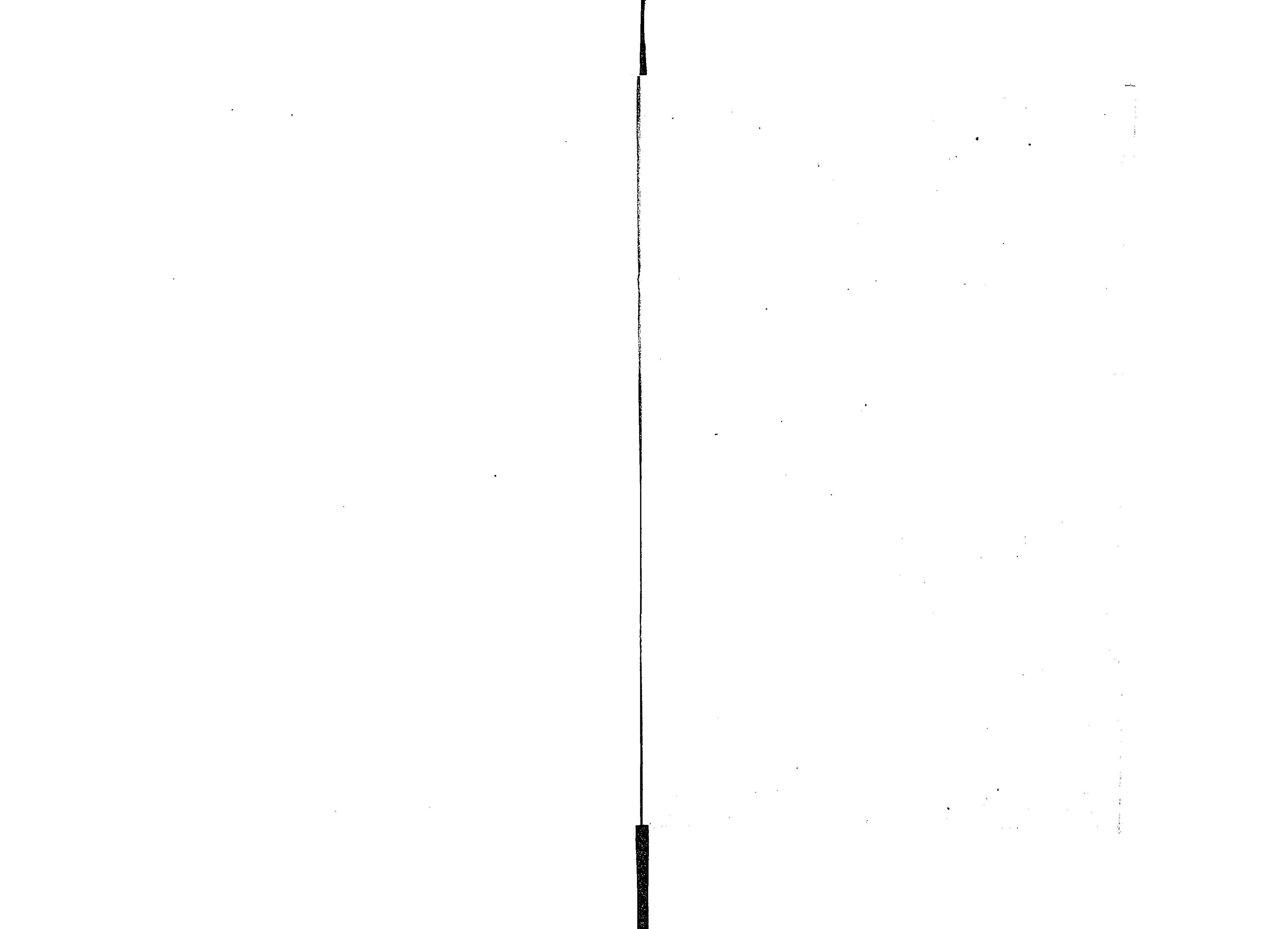
代 表 者

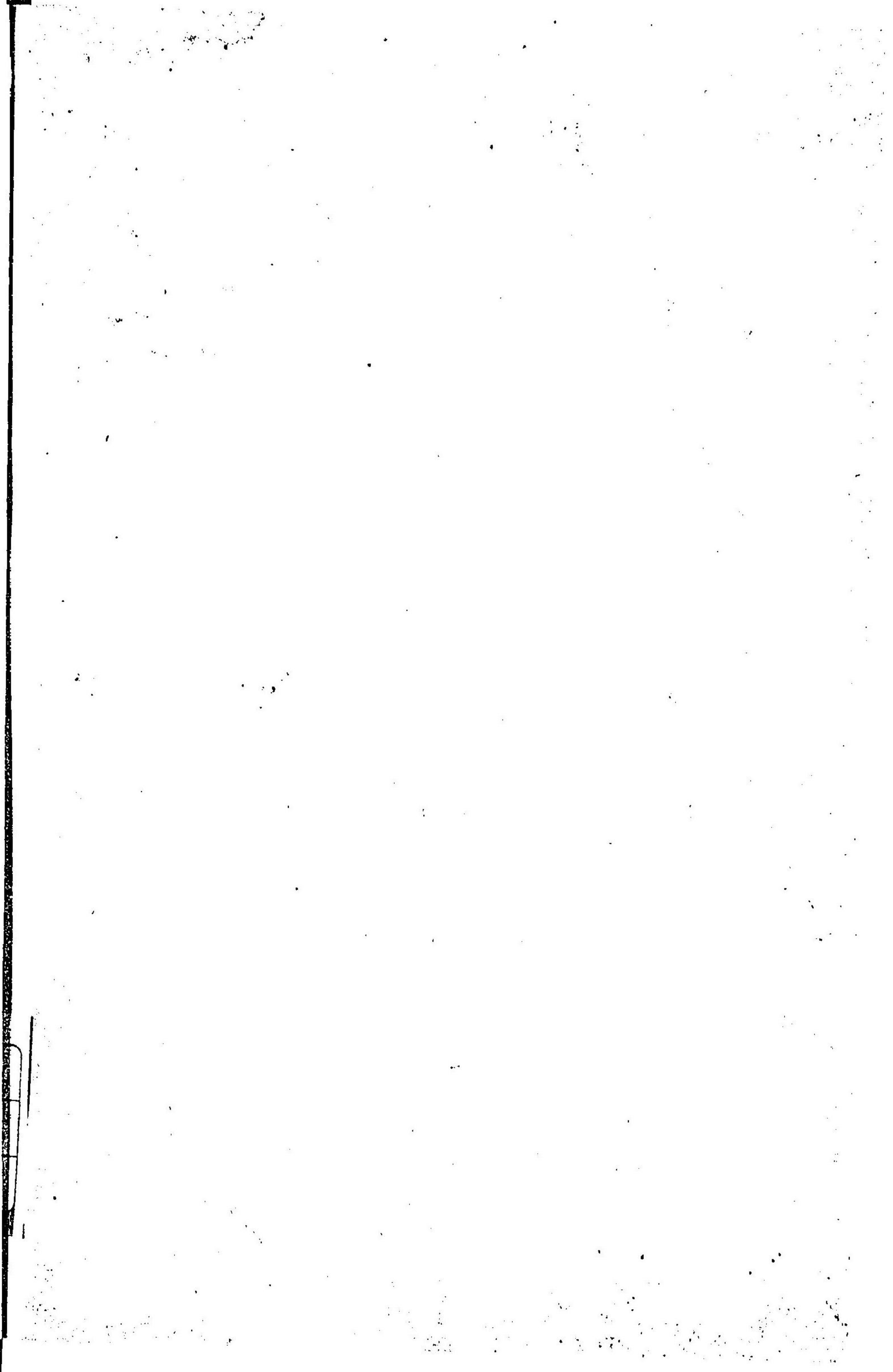
原 亮 三 郎

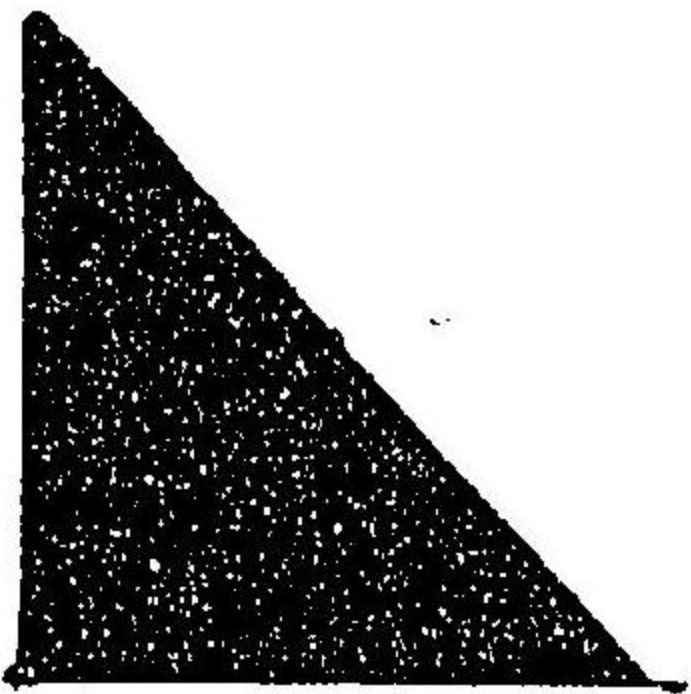
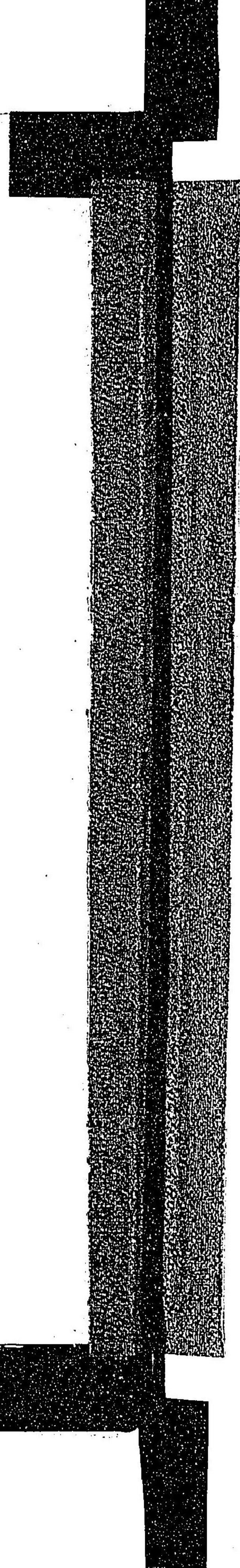
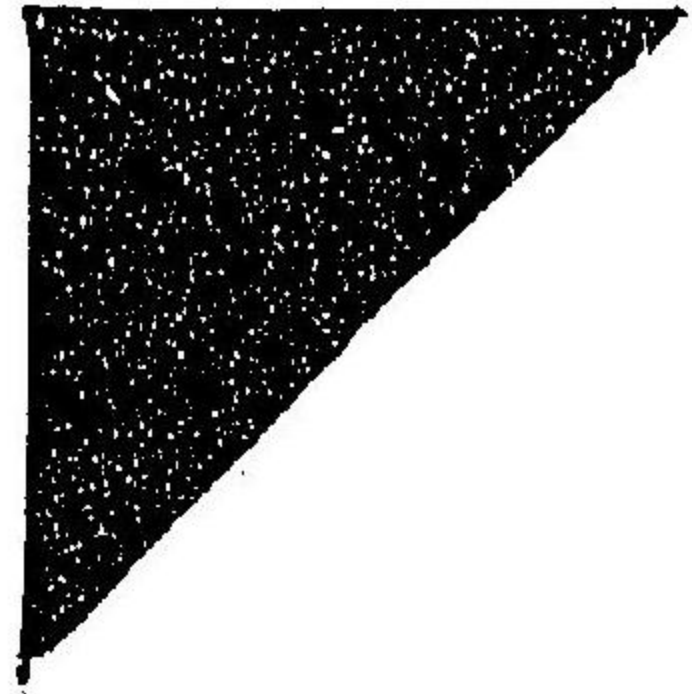
大阪市東區岡本町四丁目

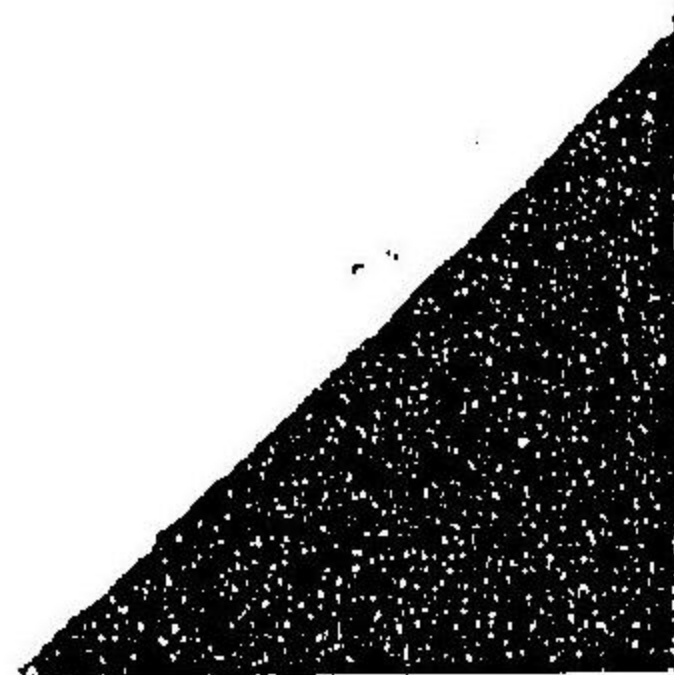
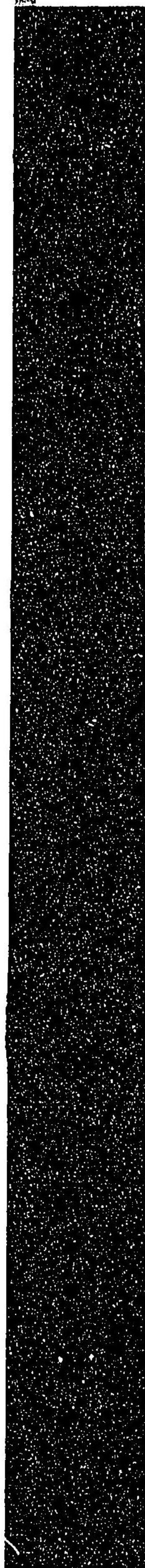
賣 捌 所

金 港 堂
各府縣特約販賣所









811.56

N4520

送假名大概

国立国会図書館

077006-000-2

811.56-N4520

送假名大概

中根 淑/著

M28.10

DAC-0185



